

# 看護

公益社団法人  
新潟県看護協会機関誌

2026 Vol.165

2月20日発行

新潟県看護協会会員数

- 保健師……………767名
  - 助産師……………537名
  - 看護師……………13,070名
  - 准看護師……………350名
  - 会員総数……………14,724名
- 〈令和7年12月31日現在〉

## にいがた

**特集1** 2025年度新潟県看護協会看護学会 **P2・3**

**特集2** 各職能委員会の活動報告 **P4・5**



### Contents

- 02 新潟県看護協会看護学会 開催報告
- 03 新潟県看護協会看護学会 開催報告
- 04 各職能委員会の活動報告(保健師職能・助産師職能)
- 05 各職能委員会の活動報告(看護師職能I・看護師職能II)
- 06 秋の叙勲／訪問看護総合支援センターの取り組み
- 07 おらって職場自慢: 知命堂病院
- 08 ファーストレベルを受講して／災害支援ナース養成研修
- 09 新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会を終えて
- 10 イベントレポート「ナースコネクト」／奨学金のご案内
- 11 ナースセンターからのお知らせ
- 12 にいがた看護フェスタin上越開催のお知らせ  
かんごちゃんが教えてくれるQ&A／編集後記

# 第32回 2025年度 新潟県看護協会

## \\テーマ// 看護の質向上を目指した最新テクノロジーの活用

〈とき〉 2025年11月11日(火) 〈ところ〉 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

2025年11月11日(火)、朱鷺メッセにおいて、第32回新潟県看護協会看護学会を昨年に引き続き会場参加型で開催いたしました。

昨年度は、看護研究・実践報告あわせて17演題の発表と9セッションの企画をいただきましたが、演題登録数としては十分とは言えない状況でした。そこで本年度は、演題登録の促進を目的に「演題お悩み相談会」を開催いたしました。また、一般演題では口演・示説発表のいずれかを選択できるようにし、優秀演題には「学会長賞」「学会委員長賞」を設けました。さらに、当日参加者の皆様のご意見を反映できるよう、投票システムを活用した「学会賞」も新設いたしました。

本年度のテーマは「看護の質向上を目指した最新テクノロジーの活用」とし、特別講演には株式会社OPERe代表取締役CEO・澤田優香先生をお招きし、患者コミュニケーションを促進する「ポケさぼ」についてご講演いただきました。口演14題、示説5題の計19題の演題発表をいただき、加えて8セッションの企画が開催されました。

前日からの強風雨により発表者および参加者の交通手段が懸念されましたが、当日は248名の皆様にご参加いただきました。会場は終始活気にあふれ、盛会のうちに無事閉会することができました。

閉会式に先立ち表彰式を行い、「学会長賞」には新潟県立中央病院の上坂唯子さん、「学会委員長賞」に

学会委員会 委員長 上原 喜美子

は新潟県厚生農業協同組合連合会村上総合病院の渡邊静さん、「学会賞」には佐渡市立両津病院の池野優子さんが選ばれました。受賞された皆様にご心よりお祝い申し上げます。

大きな事故もなく学会を終えることができましたことを心より感謝申し上げます。ご発表いただきました看護職の皆様、座長の皆様、そして特別講師の先生に厚くお礼申し上げます。

本学会は、今後も会員の皆様とともにより充実した学びと交流の場を築いてまいります。引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



特別講演 澤田優香氏(前列左から4番目)と学会関係者



### 新設

## 学会長賞・学会委員長賞・学会賞

今回より、優れた研究や活動を称える「学会長賞」「学会委員長賞」「学会賞」が新たに設けられました。看護の未来を切り拓く皆さんの取り組みを、県協会としてしっかりと評価・応援していきます。



### 学会長賞

A病院に就職した看護師の就職先選択理由と実習経験に関する調査

— 実習環境改善への取り組みに向けて —

新潟県立中央病院 〈上坂 唯子・山田 彩乃〉



### 学会 委員長賞

救急外来看護師と救急隊との連携強化に向けた取り組み

— コミュニケーションノートとカンファレンスを実施してみた —

新潟県厚生農業協同組合連合会村上総合病院  
〈渡邊 静・山田 裕美・渡邊 ひとみ〉



### 学会賞

三交代制から二交代制16時間夜勤へ変更の評価

— 看護師とその家族による疲労蓄積度の調査から —

佐渡市立両津病院 〈池野 優子・倉田 祥子・市橋 美智〉



学会賞受賞の池野さん



澤田優香氏

株式会社OPERe(オペリ)  
ホームページはこちら

## 特別講演 ダイジェスト

## 業務負荷軽減と看護の質向上の 両立を目指した看護DX

株式会社OPERe(オペリ)代表取締役CEO澤田優香先生のご講演は、「人手不足の中でDXが“選ばれる職場”の必要条件となる」との言葉を皮切りに始まりました。国も推進する病院DXは必須である一方、予算や人財など多くの課題があります。DX推進の壁として①費用、②IT人材、③サイロ型(縦割り)組織が挙げられ、「患者さまのためになることをする」というぶれない目的を掲げることの重要性を強調されました。

また、費用対効果の考え方や補助金の活用方法を具体的に説明され、ITネイティブ世代の参画を促し、組織の中核を担う看護部が病院DXの推進役となる必要性を示されました。看護職は患者様と最も長く接し、すべての部署と関わりを持つ存在であり、現場を最もよく理解しているからです。



DX推進は決して容易ではありませんが、「元気に揉める」—言うべきことを率直に伝え、心理的安全性を保つことが成功の鍵とのことでした。「ポケさぼ」導入事例も紹介され、澤田先生のテンポの良い語り口に聴講者はぐいぐいと引き込まれていきました。

最後に「人に寄り添い、力を引き出す手段がDX化しても、看護の本質は変わらない」という言葉で講演を締めくくられました。  
(学会委員会 上原喜美子)



特別講演  
熱心に聴き入る参加者のみなさん

### 2025年度 新潟県看護協会 看護学会日程

9:15	9:30~11:00	11:15~12:15	12:30~13:30	13:45~14:45	15:00~15:45	15:55
開会式	特別講演	口演1群 (慢性期看護)	ランチョン セミナー1	口演3群 (急性期看護)	実践相談会 ①DM看護 ②認知症看護 ③老年看護 ④WOC	閉会式
		口演2群 (看護総合)	ランチョン セミナー2	セッション④ 身体拘束ゼロを目指して ～認知症ケアと医療安全のジレンマを超えて～		
				13:35~14:35 ポスター発表	ポスター展示	
		セッション① 知って得する!急性期看護の実際～あなたの目の前の看護に活かしてほしい地域における認定看護師の活動～	セッション② 心不全パニックって?そもそも、心不全って?どんな支援をすればいいの?認定看護師を活用して日々のモヤモヤを解消してみませんか!	セッション③ 看護×災害～能登半島地震で実践された災害看護の姿 DMAT & 災害支援ナースの視点から～		
				セッション⑦ その人らしい選択を支えるために～看護師・保健師・助産師による意思決定支援の実践報告～		
		セッション② 訪問看護ステーションにおける特定行為研修修了者の挑戦	セッション④ 明日からできるフットケア!～糖尿病患者の足を守るトリセツ～	セッション⑧ 看護研究演題登録お悩み相談会		

医療安全委員会(ポスター掲示)



学会に参加したことがない方のために、今年度の学会日程を紹介するよ。こんなに、いろいろな発表があったんだね。



4職能による「意思決定支援」のセッション 大人気でした



示説の様子 発表者に気軽に質問できます

### 取材を行った広報委員から

口演・ポスター発表・セッション等参加された皆さんは、真剣な表情で話を聞かれていました。演者の方々も熱意をもって発表されており、充実した時間を過ごせました。特に4職能共同フォーラムでの「意思決定支援」をテーマにしたセッションでは、会場に入りきらないほど盛況で参加者の関心の高さが伺えました。



みなさんとお会いできることを楽しみにしています

次回開催は

令和8年12月17日(木)朱鷺メッセです。  
テーマ「今、あらためて患者中心の看護を考える」

※詳細はホームページをごらんください

\*特別講演は、「日本看護協会 会長 秋山智弥氏」です。

# 各職能委員会

## 保健師職能委員会の活動報告



保健師職能理事 十日町地域振興局健康福祉部  
内山 美智恵

保健師職能委員会では、「保健師を継続する力」をテーマに3か年計画で取り組んできました。最終年にあたる今年度は「キャリアデザイン」を取り上げ、情報交換会を開催しました。話題提供者らの保健師人生、ターニングポイントをお聞きし、迷いながらも前に進んでいこうという気持ちを持ってたのではないかと思います。

保健師等研修会は、多くの保健師が課題と感じている記録について、大阪大学大学

院小西かおる教授をお招きし、若手からベテランまで学ぶ機会を持つことができました。「保健師記録とは、保健師活動における実践の思考と行為の一連の過程を示すもの」との講師の言葉がありましたが、それぞれ職場に持ち帰って職場全体へと波及していただき、よりよい記録を目指していただければと思います。

支部職能代表者会議では、「地域全体の健康・療養支援における自治体保健師と地域の看護職の連携・協働による仕組みづくり」をテーマに、現状と連携を推進するための取組について意見交換をしました。今回は十分な議論の時間が取れませんでした。引き続き検討を進めていきたいと思っています。

### 保健師情報交換会



自らのキャリアについて話す情報提供者の方々

### 保健師等研修会



記録について活発に意見交換を行いました

## 助産師職能委員会の活動報告



助産師職能理事 新潟医療福祉大学  
山口 典子

今年度の支部職能代表者会議では、日本看護協会常任理事の井本寛子氏に看護職賠償責任保険制度についてご講演いただき、本制度への加入の重要性はもちろん、助産師が日々安心安全に、かつ自ら責任をもって、専門性を最大限に発揮につなげるための学びの機会としました。また各支部の情報交換を実施し、支部同士や職能合同での研修会を計画していることや産後ケアを開始している施設が徐々に増加していることなどの報告がありました。

情報交換会では、母性看護専門看護師の吉森容子氏を講師に迎え、「いざ!産後ケア」をテーマに、院内での産後ケアシステムの

導入から具体的な取り組み内容について理解するとともに、各施設での進捗状況などについて情報交換を行い、充実した機会となりました。

研修会では、産婦人科医の倉林工氏を講師に迎え、「女性医学からみた生涯にわたるヘルスケアへの挑戦」をテーマに、女性の生涯にわたる心と身体をケアする助産師の役割について、最新知見も踏まえながら、改めて学ぶ貴重な機会となりました。

これらの活動を通して皆様からいただいた意見については、職能委員にて精査・分析させていただいた上で次年度活動に繋げることはもちろん、全国の助産師職能からの意見と共に集約され、国への貴重な発信材料となります。引き続き、忌憚のないご意見等、ご協力をよろしくお願いいたします。

# の活動報告

## 看護師職能委員会Ⅰの活動報告

看護師職能Ⅰ理事 新潟白根総合病院  
長岡 敦子



日頃より看護師職能Ⅰ(病院領域)の活動にご支援をいただき有難うございます。

2040年に向けて、病院領域における看護職は、医療の最前線で多くの課題に直面しています。看護師職能Ⅰ委員会では、就業中の看護職の安全と安心を守り、できるだけ長く働き続けられる職場環境づくりに関する現状把握と課題発見の活動を行っています。

職場環境のひとつであるハラスメントは、社会的にも大きな問題です。看護師職能Ⅰ、Ⅱが協働し働く看護職のハラスメントによる現状や悩みを共有する場を設ける必要性から「支部代表者会議」と「情報交換会」において、「ハラスメント」と「カスタマーハラスメント」を題材とし講義と意見交換を行いま

した。タイムリーな話題を取り上げ情報共有に努めています。

また、看護師が専門性を発揮し「やりがい、働きがい」が持てるよう看護職間の連携、タスクシフト・シェアの推進では、「看護補助者との連携・協働で生じている医療安全上の課題」について、新潟県病院看護管理者にアンケートを実施させて頂き、集約した内容をもとに地区別委員長会議で意見交換を致しました。

看護師職能においては、人材確保、処遇改善、人材育成、職場環境の整備は、いずれも看護職の定着と医療の質向上に直結する重要なテーマです。改善に向けて、より多くの看護職の方から声をお聞きし、新潟県看護協会や関係機関に届けてまいります。

## 看護師職能委員会Ⅱの活動報告

看護師職能Ⅱ理事 介護老人保健施設 米山爽風苑  
佐藤 直美



看護師職能Ⅱは在宅、介護・障害者福祉施設領域になります。看護師職能Ⅱの活動としては、課題を抽出するとともに、他の職能とも連携を強化していくことが求められています。今年度の活動目標は、看護師職能Ⅱの看護師がいそいそ働くための環境づくりをめざすとし、1)看護師職能間の連携、2)看護師職能Ⅱの魅力発信、3)4職能間での情報交換と情報共有としました。活動としては、看護師職能Ⅰと合同で支部代表者会議や情報交換会を開催し、ハラスメントについて講演や情報交換を行い、参加定数を上回る73名の参加を得ることができました。更に新潟県看護学会のパネルディスカッションでは、4職能合同で意思決定支援の取り組みについて発表及びディスカッションを行い、多くの方が会場に足を運んで下さり関心の高さが伺えました。

看護師職能Ⅱはまだまだ会員数も少なく今後この領域に関心を示してくれる方を増やしていかなければなりません。これからも、看護師職能Ⅰをはじめ他の職能とも連携し活動していきたいと思えます。



令和7年度 秋の叙勲受章おめでとうございます  
長年のご活躍に敬意を表し、心よりお祝いを申し上げます

瑞宝単光章

高野 清美 様

元 新潟県立中央病院看護部長



## ～訪問看護総合支援センターの取り組み～

### 訪問看護推進課・訪問看護総合支援センター

県民の皆様が住み慣れた地域で、人生の最期までその人らしく過ごすことができるよう、質の高い訪問看護サービス提供体制の安定化および推進を図ることを目的として、様々な事業を実施しています。その中の一部を紹介します。

※訪問看護ステーション⇒訪問看護STと記載します。

#### 訪問看護 関連研修会

##### 受講者の声

訪問看護師としての役割を再認識できた。  
他の訪問看護STの方々と対話する機会が多  
々あり貴重な機会だった。

##### 体験者の声

利用者様に丁寧に関わる訪問看護師をみて、  
自分もそんな看護師になりたいと思った。

#### 訪問看護就業支援プログラム (訪問看護STの体験) R7.12.31現在

- 実施期間／令和7年5月から令和8年2月
- 協力訪問看護ST／全圏域の27施設
- 体験者／看護学生14名・延べ18日、看護師4名、延べ6日

#### 訪問看護関連研修(新任者編)

- 全日程:eラーニング・講義7日間・施設実習
- 公開講座:講義4回

#### 訪問看護従事者研修(管理編)

- 全日程:講義4日間・施設実習
- 公開講座:講義3回

#### 訪問看護従事者研修会(スキルアップ編)

- 講義7回 精神科訪問看護・小児訪問看護  
パーキンソン病(3回シリーズ)  
コミュニケーションスキル・慢性心不全の看護
- 今年度は土曜日5時間開催だけではなく、平日  
2時間～3時間の形も取り入れました

#### 在宅看護(入退院支援)研修会

- 全日程:講義4日間・施設実習
- 公開講座:4回

#### 新卒訪問看護師育成 体制整備支援事業

- 新潟市内の訪問看護STに、新卒看護師が入職しました!
- 採用した訪問看護STは、母体病院、市内医療機関、  
出身校のご協力をいただきながら丁寧な育成を  
しています。
- 育成報告会／令和8年2月18日(水)

#### 訪問看護師 育成サポート研修

- 全体研修①／「訪問看護の基礎知識」平日2時間×3回
- 全体研修②／新潟青陵大学との協働による開催  
「状態変化時のシミュレーション演習」  
～アセスメント・ケアを言語化する!～  
令和8年2月3日:各2回
- 個別研修／訪問看護STに訪問して育成体制等の相談

##### 受講者の声

利用者の状態を見るだけでなく  
考えながら、優先順位をつけること、  
言語化することの難しさを学べた。

### ♡ 新人さんいらっしゃい ♡

医療法人知命堂病院 看護部長 大島 則子

知命堂病院は、病床数145床を有する高齢者の医療と介護と福祉を総合的に提供できる慢性期の中規模病院で、1871年に開業された154年の歴史ある病院です。

ご存じと思いますが、2026年前期連続テレビ小説「風、薫る」の主人公は当院初代看護婦長の大関和さんがモデルとなりました。医療が定着していない明治の時代に看護という職業を確立していった偉大な方で、当院附属産婆看護婦養成所の設立とともに看護婦の育成にも尽力され、現在もその精神を受け継ぎ新人教育に力を入れています。



知命堂病院



知命堂病院初代院長夫人の瀬尾 園さん：左  
と大関 和さん：右



桜井女学校附属看護婦養成所の一期生のみなさん  
中央は講師のアグネス・ヴィッチさん、かのナイチンゲールの教え子だそうです  
前列右から2番目が大関 和さん

病棟全体で新人を育成するためにチューターシップ・タスクトレーナーを導入しています。新人それぞれの成長に差が出てくることもありますが、個に合わせた目標を設定し良いところを伸ばしながら一步一步進めていきます。他部門からの協力も得られ、和気あいあいとした環境の中で新人看護師を大切に育てることができます。

新人看護師が4月に入職してまず行うのは仲間づくりのお花見です。おやつを持って桜の花の咲く道を歩きながら学生時代の話や趣味について話をします。帰ってくる頃には、みんな楽しく話ができる関係になっています。時々病棟外で合う同期たちは相手を気遣う言葉をかけたり、笑顔で話をしたり本当にいい仲間となっています。

看護の道を歩み始めたこのつぼみたちは、これから強い日に照らされたり、大きな風に吹かれたりと困難なこともたくさん経験するでしょう。そんな時は下へ下へと根を降ろし、困難に負けないたくて強い根を張り、たくさんの栄養を蓄え、咲くための準備をしてほしいと思います。知命堂はそんなつぼみたちを仲間とともに支えながら大切に育てていく場所です。



新人研修の様子



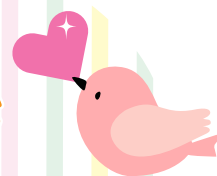
新人お花見

# おらって職場自慢 してみませんか？

あなたの職場のPR、看護にいがたの紙面にのせてみませんか？  
●お問い合わせ先▶ [info@niigata-kango.com](mailto:info@niigata-kango.com)



# 2025年度 認定看護管理者教育課程 ファーストレベルからの学び



佐潟公園病院 看護主任 高橋 由次

ファーストレベルを受講し、看護管理を体系的に学んだことで、日々の判断や関わりの方針を整理することができ、自身の役割を見つめ直す機会となりました。

中でも、精神科看護における倫理教育の重要性を改めて痛感しました。隔離・拘束といった人権に関わる援助や、自己決定が難しい患者と向き合う現場では、看護者の確かな倫理観と寄り添う姿勢が求められます。倫理的視点に基づく援助が、患者の安心と信頼関係の基盤になると学びました。スタッフが「患者にとっての最善」を常に考えられるように出来ることが、看護主任である私の役割だと理解できました。

今後、病棟で事例を通して倫理カンファレンスを定期的に行い、病棟スタッフの倫理観を高めていきたいと考えています。

本課程を通して、それぞれの現場で悩み、努力し、患者のために奮闘する多くの仲間に出会えたことは、私にとって大きな財産となりました。これからもこのつながりを大切にしていきたいと思っています。

新潟大学医歯学総合病院 副看護師長 中口 仁恵

今年度から副看護師長になり勤務する中で、管理職として多角的な視点や論理的な捉え方が求められる場面が増え、これまでの自己の考え方では、不足を感じたことが管理者教育課程を学ぶ動機でした。

以前の私は、経験に頼った直感的な判断に偏りがちで、問題を表面的に捉えていました。研修では、背景要因を分析して真の問題を捉え、仕組みや環境に着目した解決策を考える論理的視点を学びました。

研修中は、他施設の受講者との交流を通して、地域包括医療の中で施設ごとに異なる役割や取り組みに触れ、多様な視点を学びました。受講者とは意見を交わしながら認め合う関係へと変化し、互いに支え合う仲間へと成長していきました。尊重しあう関係性から生まれる心理的安全性が、学びを深める上で欠かせないことを実感しました。

研修を通して自部署の課題に向き合っ得た学びを、部署運営やスタッフ支援につなげていきたいと思っています。



2025年度 ファーストレベルの仲間達…「患者にとっての最善とは」を考えました

## 災害支援ナース養成 研修を実施しました



災害支援ナース養成研修は、令和6年4月施行の改正医療法・改正感染症法に基づいて実施されています。今年度は9月1日～11月21日にオンデマンド研修を受講し、11月27日・28日に集合研修で災害と感染症の演習を行いました。新潟県の災害支援ナースは98名の先輩に加え、35名の新たな仲間が増えることになり、133名となりました。災害は予測できません。日々備えるために、来年度も多くの参加を期待しています。



個人防護具着用中

# 新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会を終えて

【令和7年9月10日～12月9日 参加者34名】

素敵な指導者を目指してがんばります!  
講習会楽しかった!  
有田 成美(済生会新潟病院)

学生に寄り添い、共に成長できる  
実習指導をしていきたいです。  
市川 亜梨沙(県央基幹病院)

参加者のメッセージを  
ご紹介いたします。

学生の思いや気づきを  
大切に「共育」していきます。  
小竹 友美(国立病院機構新潟病院)

独話ではなく対話を目指す!  
コブラにならない!  
石井 直幸(新潟聖籠病院)

学びの機会に恵まれ、充実した3か月間でした。  
今井 恵理香(五泉中央病院)

対話を重ねて、仲間とともに  
共育していきたいです。  
加藤 由起子  
(新潟大学医歯学総合病院)

「独話」ではなく「対話」を大切に!  
ここで出会えた仲間へ感謝!  
石川 亜衣(有田病院)

研修を通して仲間と協力して  
学べたことは宝物です。  
内山 榛奈(柏崎厚生病院)

最高のメンバーと最高の学びができました。  
ありがとうございました。  
金子 昌春(みどり病院)

常に学生にとって味方でいられる  
指導者を目指します!  
石川 達也(黒川病院)

ロールプレイを通して  
新しい自分に出逢えました。  
江口 進哉(高田西城病院)

学生に寄り添える学生指導者になりたいです。  
唐澤 匡(新潟医療センター)

学生の話に傾聴し理解して  
指導する大切さを学んだ。  
石澤 良太(南魚沼市民病院)

仲間と楽しく学び、実践に  
活かせる知識を得ることが出来ました。  
岡田 汐里(知命堂病院)

学生が手術室実習を  
安心して行える環境を作ります!  
川上 舞(県立がんセンター)



閉講式

大変な事もあったけど、  
良い学びと素敵な出会いに感謝  
長島 美知留  
(新潟リハビリテーション病院)

講習会で学んだことを実践し学生が  
良い環境で実りある実習ができるように  
頑張ります!  
白崎 杏奈(新潟市民病院)

良い出会いに恵まれ、  
多様な視点が学べました。  
佐々木 麻美(豊栄病院)

自分自身の関わり方を問いただす機会となりました。  
山崎 健太(末広橋病院)

多くの学びを得られる、  
実りある研修でした。  
福山 加奈(新津医療センター病院)

楽しい仲間に出会えました。  
佐藤 祥子(三之町病院)

沢山の素敵な仲間と出会い、  
良い刺激を受けました。  
澁倉 あゆみ(西新潟中央病院)

学生が安心して実習できるように、  
学んだことを活かして学生と  
関わっていききたいです。  
関根 奈保子(見附市立病院)

共育を目指して頑張ります!  
佐藤 花美(小千谷さくら病院)

コブラにならないよう初心の気持ちを忘れずに  
学生とともに成長していきます!  
小関 里空(桑名病院)

多角的な視点を持つヒントを  
得ることが出来ました。  
藤田 瑞恵(西蒲中央病院)

多くの学びと出会いがあり充実した研修でした。  
学びを今後活かしていきます。  
齋藤 典子(下越病院)

「対話」を大切にしていきます。  
研修に参加したみんなありがとう。  
本間 英之(松浜病院)

学生指導について学ぶ機会を  
頂き大変勉強になりました。  
高橋 愛子  
(西蒲メディカルセンター病院)

楽しかったです。  
学びが多い講習でした。  
三宅 瞳(介護老人保健施設 陽光園)

この講習会を受講することで  
コブラにならない指導者の道に進めます!  
曲山 太一(国立病院機構新潟病院)

新たに学び、同志を得られました。  
諸橋 幸実  
(岩室リハビリテーション病院)

楽しかったです。  
今後の指導に活かしていきたいと思ひます!!  
米山 達矢(木戸病院)

学生さんと一緒に看護を  
していくのが楽しみ!  
渡辺 祐希(悠遊健康村病院)

## イベントレポート／ ナースコネクト

# 出会いと気づきで これからのナースライフを描こう!

新規会員同士のつながりづくりと、先輩看護職(メンター)との対話を通じた安心できる交流の場として、「ナースコネクトー新規会員交流会」を県内3会場(ロッテアライリゾート、和島トゥール・モンド、五十嵐邸ガーデン)で開催しました。終始あたたかな雰囲気の中で活発な交流が行われました。

### 会員の不安や悩み、先輩と共有

当日は、看護協会が行っている活動や会員サービスの紹介のほか、参加者とメンターによるワールドカフェ形式のグループ対話を行いました。

対話の場では、参加者から「多くの人が似た悩みを抱えていることがわかり安心した」「先輩にもっと相談してみたい」といった声が聞かれました。またメンターからは「自分の新人時代を思い出した」「相談を受ける準備は常にあるので気軽に頼ってほしい」など、後輩を支えたいという思いが語られました。

悩みの解決に至らなくても、共感によって気持ちが楽になると感じる参加者も多く、「心の支えとなる場だった」との評価も寄せられました。



和島トゥール・モンド(長岡市)

### 理解深まり、交流も活発に

新規会員が協会活動への理解を深めるとともに、同じ地域・同じ世代の看護職同士がつながりを持つ機会とすることができました。

看護協会では、より多くの会員が参加でき、悩みを気軽に共有できるような環境づくりを今後も続けていきたいと思えます。

参加いただいたみなさん、ご協力いただいたメンターさんありがとうございました!



五十嵐邸ガーデン(阿賀野市)

## 奨学金のご案内 奨学金を進学等にぜひご利用ください!

- 対象／①日本看護協会看護研修学校の在校生  
②看護専門職に関する研修を受けようとする者  
③准看護師として就業していた者が進学しようとする者  
④看護学の研究研修で外国留学をする者  
⑤看護系大学及び看護学校の学生であって、看護師免許取得後本会会員となる者

■貸与期間／貸与決定の月から卒業の月まで

■貸与金額／月額50,000円以内の希望額  
ただし、⑤に該当するものは月額30,000円以内

■募集時期／4月1日～5月31日

### ■返還条件

- ①最長で貸与を受けた期間の倍数の月数とし、その範囲内で任意の期間
- ②返還開始は貸与期間が終了した6ヶ月以内の任意の期間
- ③返還額は各月均等

新潟県看護協会  
HPトップページ

▶看護協会について▶協会概要▶情報公開▶その他・奨学資金貸与規則

お問合せ

新潟県看護協会 総務課 奨学金担当

☎025-265-1225

✉ soumu1@niigata-kango.com



奨学資金貸与規則はこちら

# ナースセンターからのお知らせ

とても大切なお知らせです。

ぜひ、確認してくださいね



令和8年4月から当センターにおいて、  
看護補助者の無料職業紹介を開始予定です

- 看護補助者に興味のある方へ、職場探しの相談をいたします
- 「看護補助者」の人材をお探しの管理者の方は、eナースセンターから、求人票登録をお願いいたします

ナースセンター長岡支所は、令和8年4月移転予定です  
詳細は決定次第、ホームページやチラシ等でお知らせします

「新潟県ナースセンターだより」の  
メールマガジン配信サービスを開始します



確実に情報がお手元に届くよう、ぜひ、メルマガ配信のご登録をお願いいたします。  
以下の自動登録用メールアドレス宛に、空メールを送信ください。

自動登録用メルアド▶[nurse.c-apply@niigata-kango.com](mailto:nurse.c-apply@niigata-kango.com)

- 当会ホームページ上からもご登録できます。  
当会HP▶看護協会について▶広報誌▶ナースセンターだより▶登録のご案内より

**離職したら、ナースセンターに届出登録をお忘れなく!**

▼届出制度(とどけるん)にご登録下さい



登録は  
こちらから

**重要!**

- 定年退職、転職、しばらく看護職として働く予定がない場合、届出が必要です。
- 退職時に、次の就職先が決まっても、届出は必要です。
- 住所など、届出内容に変更があった場合は、変更をお願いします。

ナースセンターは  
看護職の  
サポーターです

仕事をお探しの看護職の皆さま・人材をお探しの管理者の皆さま  
ナースセンターをご利用下さい!



登録はこちらから

◀eナースセンターにご登録下さい

日本看護協会中央ナースセンターが運営する無料の求人・求職サイトです。

とどけるんに登録の際に、ナースセンターが行う無料職業紹介事業(eナースセンター)への登録を希望すると、インターネット上でお仕事検索が可能になります。また、研修の情報等も受け取ることができます。





# にいがた看護フェスタ in 上越 開催のお知らせ

- 開催日時: 令和8年5月23日(土) 11:30~15:00
- 場 所: 直江津ショッピングセンターエルマール1階セントラルコート  
無印良品直江津Open MUJI(直江津ショッピングセンター エルマール 2階)  
(新潟県上越市西本町3丁目8-8)

**テーマ** やさしさを形に、未来を支えるナースの力

**目的** 看護の心(思いやり・支え合い・命の大切さ)を広く県民に普及すると共に、  
看護職の魅力を若年層へ発信することをねらいとします

**対象者** どなたも大歓迎です。小学生・中学生の方が楽しんで  
いただけるものをたくさん準備しました。

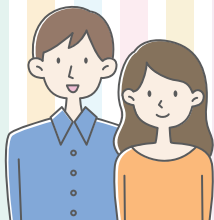
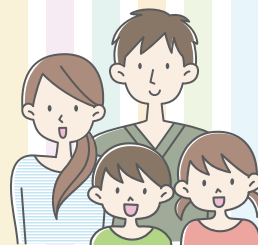
**内容  
(予定)**

### 体験コーナー

- 車いす乗車・介助体験 ●模擬消毒体験 ●聴診器で呼吸の音をきいてみよう
- 血圧測定体験 ●救命処置体験(心臓マッサージ・AED)
- 白衣着用体験&プリクラ撮影 ●クイズラリー など

### 展示コーナー

- 看護職になるには ●看護職のエキスパートを目指すなら ●看護の仕事の魅力
- 看護の歴史、看護の日とは ●昭和から令和までのユニホームを展示
- 来場者参加のメッセージボード  
「看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)への応援メッセージ」



**Q & A**

**Q** DXって看護の現場で具体的にどのように使われているの？

- A** 一例として
- AIを活用した電話対応
  - バイタルサイン測定データの電子カルテへの自動入力
  - タブレット端末での患者情報共有(サマリー等)
  - タブレット端末を利用したオリエンテーション
  - ぼけサポ

詳しく知りたい方はP3「特別講演ダイジェスト」も是非チェックしてね！

## 編集後記

今年度も多くの皆様からのご支援ご協力を頂き、広報誌を発行することができました。  
今後も看護協会皆様のお役に立てる情報を発信できるように日々精進してまいります。

広報委員会: 古泉/本間/佐藤/小林/鎌田/谷川/山下/中山

